

# 一般質問



## 行財政改革推進について

## 神代小学校改築問題について

安藤 武

### 行財政改革推進について

**質問** 合併により、多様な地域資源が加わり、広域的な行政運営で、効率化が図られるとして合併したのであるが、実質公債比率が十九・

一％と大変厳しい内容である。又借金を返済する人口、少子化が急激に加速してきている。職員の不補充は将来的に住民サービスの低下をきたす。問題を先送りして、子どもや孫達の世代に大きな負担を残すことだけは絶対避けなければならない。市長はこの財政構造の硬直化が進む中、財政運営をどう進めるのか、又住民サービスはどうなるのか。

**市長** 合併による期待は高いということを感じている。課題を抱えた三町村が合併しただけでは解決するわけではない。財源を生み出すために必要なまで削るといふことではなくて、いかに目標とした職員数で必要なサービスを行っていくかということを進めなければならぬ。補助金についても今まであったものがなくなるということでは皆さんの抵抗も多いかと思うが、自立のための支援として三年位を目途に補助

支援を行い、実力をつけるための行政支援を積極的に行っていく。又市民との対話する機会を多くすることについては、今後共、意見交換の場を作っていく。

### 神代地区の課題について

**質問** 神代小学校改築問題で、そのスケジュールと全面改築を考えているのか。

また、検討委員会の経費として計上されている。十分意見を尊重すべきだ。

### 教育長

神代小学校の改築問題については、これまでの耐震度結果を踏まえて、公立学校施設整備事業計画を提出し、国、県との協議を開始しているところである。大まかなスケジュールとしては十九年度、地盤調査、基本設計、実施設計を行い、二十年度より二十一年までの間に工事の実施を考えている。

### 質問

上下水道の普及は急務であるが、水源地を含め農集排・合併浄化槽の対応地域の線引きはいつ出来るのか。

### 市長

旧田沢湖町に於いても神代地区の上下水道は水源を色々な形で模索してきた事は私も聞いている。現在は角

館の上水より引水した方がベストでないか考えているところである。課題は、ろ過機の能力の問題、角館地域の未整備箇所の取扱いについてを解決しながら推進していく。農業集落排水事業については、現在田沢地域を実施しているので平成二十一年度完成し終わり次第、森の腰荒町地区の事業に着手する予定である。又それ以外の地区については、市町村設置型の浄化層で対応していく。



地震を想定した避難訓練中の生徒たち。神代小学校

### 角館バイパスについて

**質問** 予定通り進まない原因は何か。又、全線開通の見通しはいつか。

### 市長

全線改良延長六・一キロメートルで、内二・六

キロメートルが平成十九年度に供用開始されると聞いている。残りの三・五キロメートルについては国交省では今後十年間の道路予算に、角館バイパスは入っていると聞いているので今後早い事業完成めざし要望を続けていく。



全線開通が急がれる角館バイパス

### 損害補償請求事件について

**質問** 市民の納得が得られる方向で決着が付くのか。

### 市長

仙北市が旧田沢湖町から引き継いでいる問題であるが、第三回口頭弁論の際に、裁判長から和解の方向で考えるようにという話があった。ただし、遅延損害金の支払いを否決した旧田沢湖町議会の判断や市民感情といった問題もあり、そうした意見も聞きながら対応を検討していきたい。